



Ceylon Tea

セイロンティーの魅力

株式会社シーテージャパン

セイロンティーの故郷 スリランカ

- 日本から南西約6,700km離れた、インド洋に浮かぶ島国スリランカは、北海道の約8割(65,525km²)の広さを持つ、オーソドックス製法による紅茶の生産と輸出では世界第一位の国です。



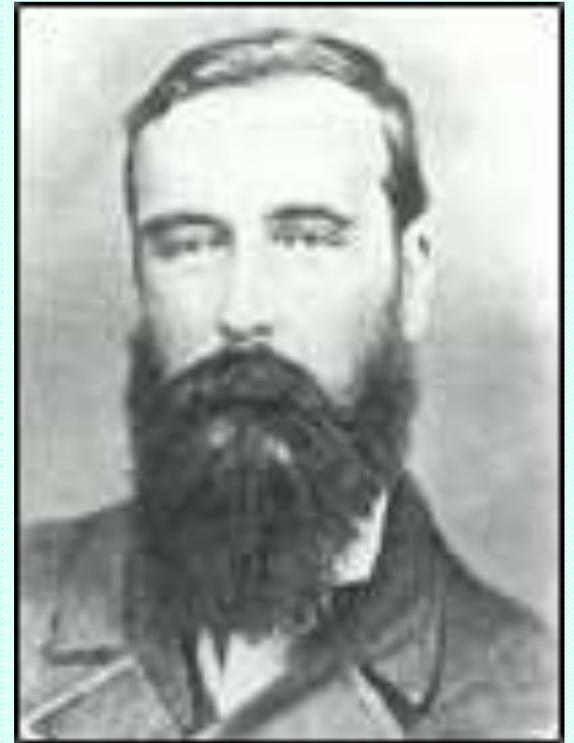
セイロンティーの始まり

- ・ 2017年は、スリランカで紅茶の生産が開始されてから150周年の記念の年です。
- ・ 1867年にジェームス・テーラーによって始まったセイロンティーの歴史は世界中の人々に愛される飲み物にまで成長しました。
- ・ これからも高品質で美味しいセイロンティーをお届けします。



セイロンティーの始まり

- ・ 1867年にスコットランド人のジェームス・テイラーが、スリランカで初めて商業ベースの茶栽培を開始しました。
- ・ その当時、スリランカの主要産物はコーヒーでしたが、1869年のさび病の大流行によりコーヒー産業が大打撃を受け、衰退していきました。
- ・ その後、コーヒーが栽培されていた場所は順次紅茶に植え替えられ、国をあげて紅茶産業の発展に力を入れていくことによって、世界有数の紅茶生産国になりました。



ジェームス・テイラー

セイロンティーの産地

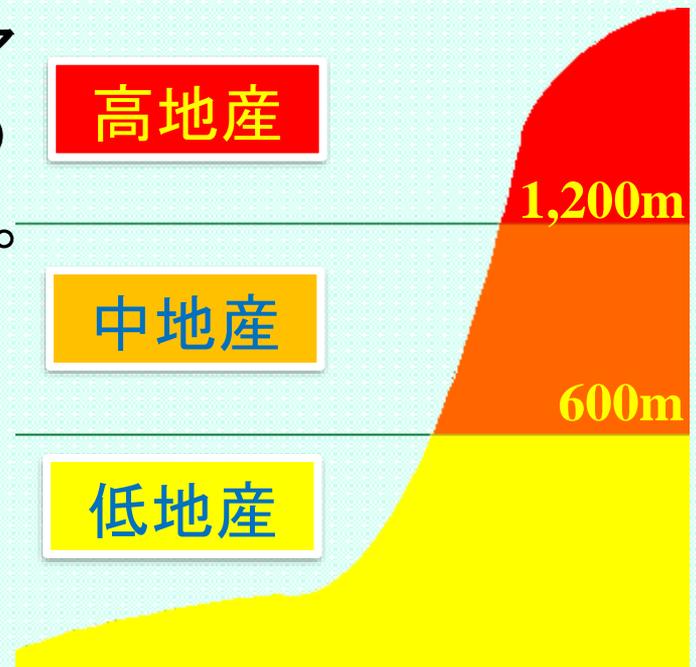
セイロンティーの産地は主に7か所あり、それぞれの特徴によって世界中の紅茶愛好家の皆様にご満足いただける多種多様な紅茶をご提供しています。



セイロンティーの産地

スリランカは産地の標高に分けて大きく3つのエリアに分かれます。

- ・ 標高1,200m以上の高地産（ハイグロウン）の紅茶は香りが強いのが特徴でヌワラエリヤ、ウバ、ウダプッセラワ、ディンブラがこれにあたります
- ・ 標高600～1,200mの中産地（ミディアムグロウン）の紅茶は飲みやすいのが特徴で、キャンディが中産地です。
- ・ 標高600m以下の低産地（ロウグロウン）の紅茶は濃厚な味が特徴。ルフナ、サバラガムワの2か所が低産地にあたります。



セイロンティーの耕地面積の割合

	耕地面積(ha)	割合
高地産	41,137	19%
中地産	71,018	32%
低地産	109,814	49%
合計	221,969	100%



ヌワラエリアー繊細な香り



糸杉の香りやワイルド・ミント及びユーカリの木からあふれるようなメンソールの爽やかな香りが、ヌワラエリア紅茶の繊細な香りを演出しています。



軽めに抽出すると、とてもなめらかで、アイスティーにすれば心身ともにリフレッシュ感が得られます。



ウダプセラワー—絶妙な刺激



クオリティーシーズンが1年に2回あり、東部のクオリティーシーズンである7月から9月までが最高ですが、春先の寒く、乾燥した時期にはバラの花の香りのような紅茶が作られます。



程良い感じの味と繊細な特徴のあるこの紅茶はストレートでお楽しみください。

ディンブラー—爽やかでまるやかな味わい



ディンブラの茶園は、中央山地の西側斜面に広がっています。



モンスーンの時期の雨と寒くて乾燥した天候が、コクのあるものから爽やかで上品なものまで、様々な紅茶を生産しています。



ミルクティーでも、ストレートでも楽しめます

ウバーエキゾチックな香り



インドのダージリン、中国のキームンとならぶ世界三大銘茶のウバは中央山地の東側斜面で生産され、極だってユニークな香りを持っています。

また、その独特な個性から様々なブレンド紅茶としても使用されています。



ストレートティー・ミルクティーでお楽しみ下さい

キャンディー深いコク



標高600mから1,200m
のミディアム・グロウン
ティー(中産地茶)は、
コクのある味わいです。濃く、香
り豊かな紅茶がお好きな方に最
適です。



ミルクティーに最適

ルフナー—際立つ個性



標高標高600m迄で生産されるルフナーの紅茶は土地の影響で黒みがかかった茶葉になり、濃い水色と、独特の風味があります。



濃厚な紅茶を求める方々に、ミルクティーでもストレートでも完璧な味わいを提供します。

サバラガムワールとってもスタイリッシュ



標高610mの低地で栽培されています。ルフナの紅茶のように濃い黄褐色が赤みを帯びていますが、香りはかなり違い、ほんのり甘いカラメルのような香りです。



ぜひミルクティーでお楽しみください。

世界のセイロンティー

- ・ スリランカは、年間33万トンの以上の紅茶を生産し、インド、中国、ケニヤに次ぐ世界第四位の紅茶生産国(シェア10%)です。
- ・ スリランカは世界一の紅茶輸出国で、100ヶ国以上の国々へ輸出しています。
- ・ 日本で消費される紅茶の約65%がセイロンティーとなっています。



セイロンティーの主な輸出先

順位	2014			2015		
	国名	輸出量	割合	国名	輸出量	割合
1	トルコ	44.7	14.1	ロシア	36.1	12.1
2	ロシア	43.6	13.7	トルコ	33.7	11.3
3	イラン	29.3	9.2	イラク	31.0	10.4
4	イラク	24.4	7.7	イラン	29.6	9.9
5	UAE	19.2	6.0	UAE	22.9	7.7
6	シリア	12.8	4.0	アゼルバイジャン	11.1	3.7
7	リビア	12.4	3.9	シリア	10.9	3.7
8	クウェート	12.1	3.8	リビア	9.9	3.3
9	アゼルバイジャン	11.2	3.5	クウェート	8.7	2.9
10	日本	9.0	2.8	日本	8.3	2.8

現在のセイロンティー

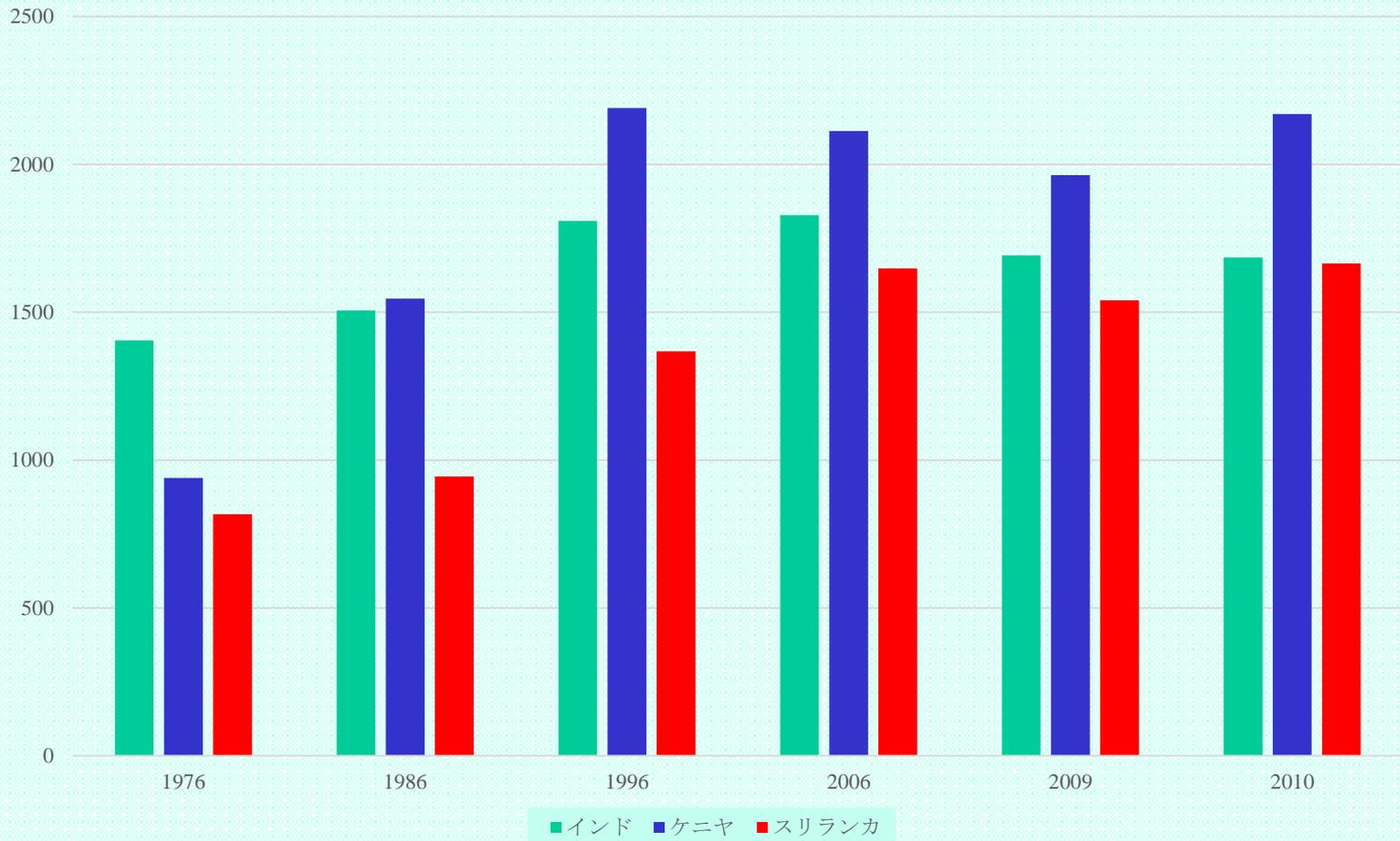
- ・ スリランカの茶葉の栽培面積は221,000haです。これはスリランカの農地の約12%にあたります。
- ・ スリランカの紅茶産業に携わっている人は約200万人います。これはスリランカの人口の約10%にあたります。
- 地球温暖化の影響によって紅茶の生産に影響がでてくるかもしれません。
- 生活水準の向上ため、住宅、社会保障などのコストがあがっています

現在のセイロンティー

- 手作業による一芯二葉(一番上の新芽およびその下のふたつの若葉)を摘み取る作業は高品質を維持しますが、生産コストもあがってしまいます。
- 国際的なグローバルスタンダード(ISO,HACCP,JASなど)の認証受けるためのコストも増加しております。
- 物流コストも年々増加しています。

セイロンティーと主な紅茶生産地の の価格競争力

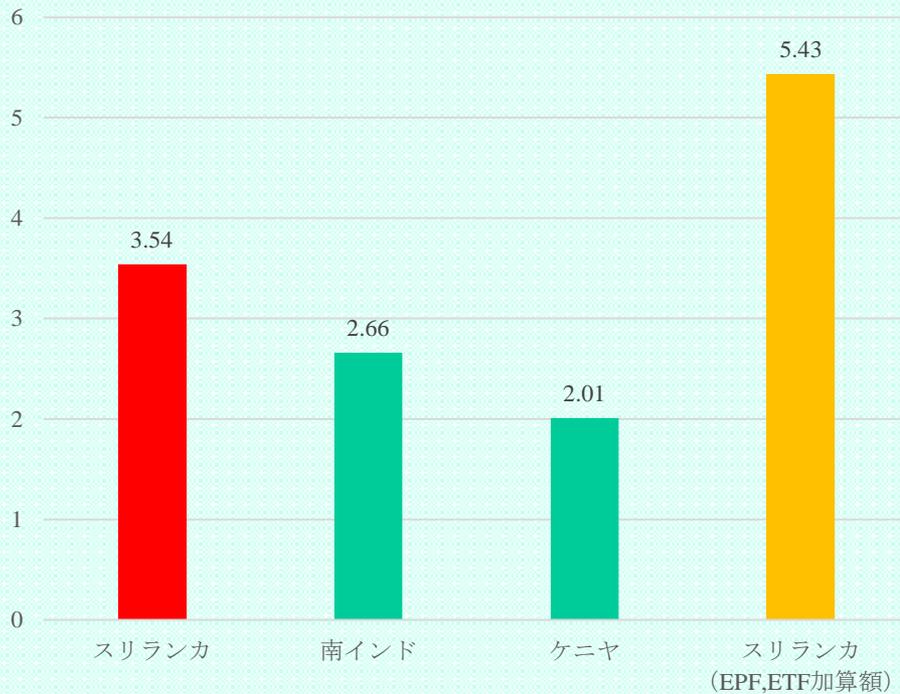
1haあたりの生産量



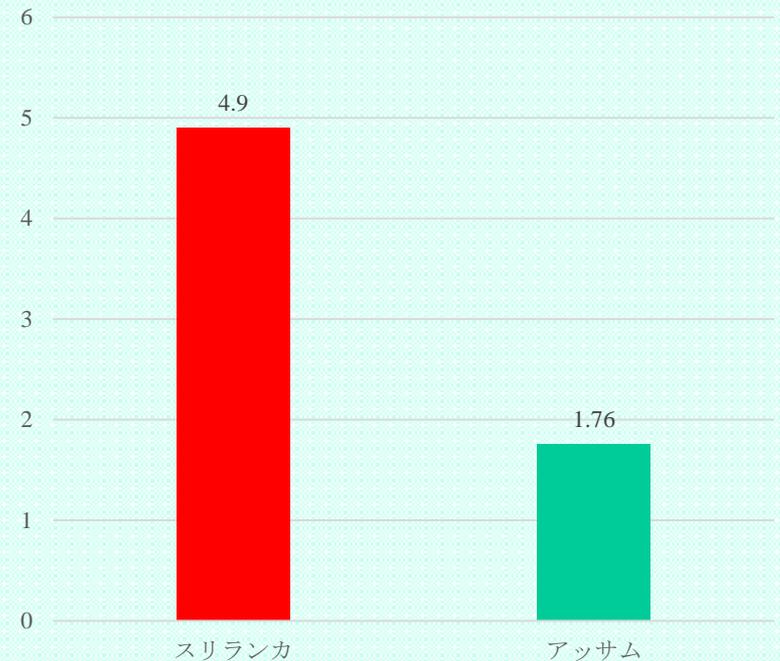
セイロンティーと主な紅茶生産地の の価格競争力

1日あたりの労働賃金（単位・ドル）

2010年 単位・ドル

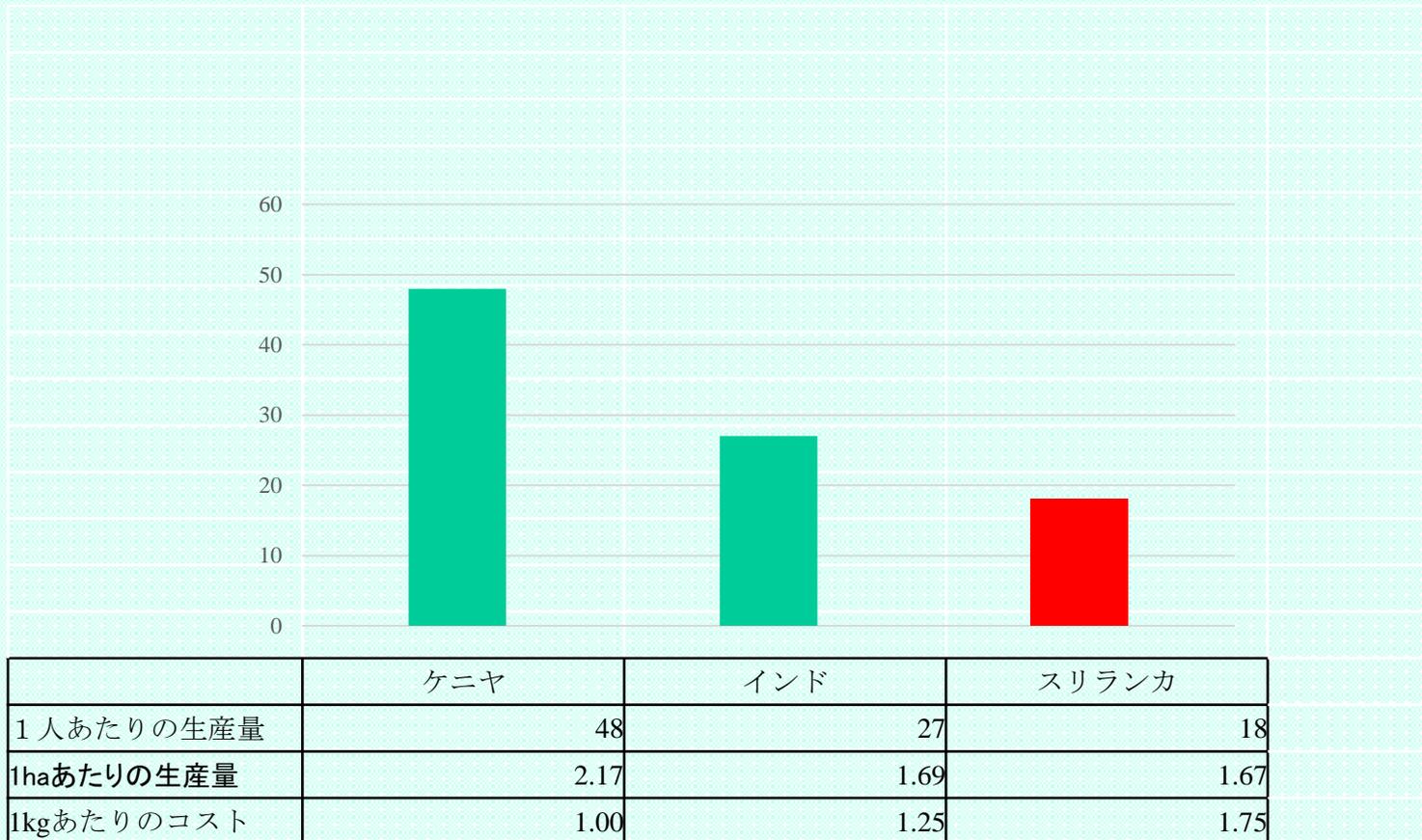


2013年 単位・ドル



セイロンティーと主な紅茶生産地の の価格競争力

1日あたりの茶葉を摘む人の生産能力



セイロンティーと主な紅茶生産地の 価格競争力

1 k g あたりの価格設定の内訳

労働者

農園労働者の賃金

材料

薪, 燃料, 肥料, 農薬,
梱包材およびその他の物品

社員管理

農園や事務所のマネージャーなどの管
理職や事務職員の給与など

税金など

医療, 福祉, 保険, 光熱費及び税金

その他



セイロンティーと主な紅茶生産地の の価格競争力

1 k gあたりの価格の比較 (単位・ドル)



世界の優位に立つセイロンティー

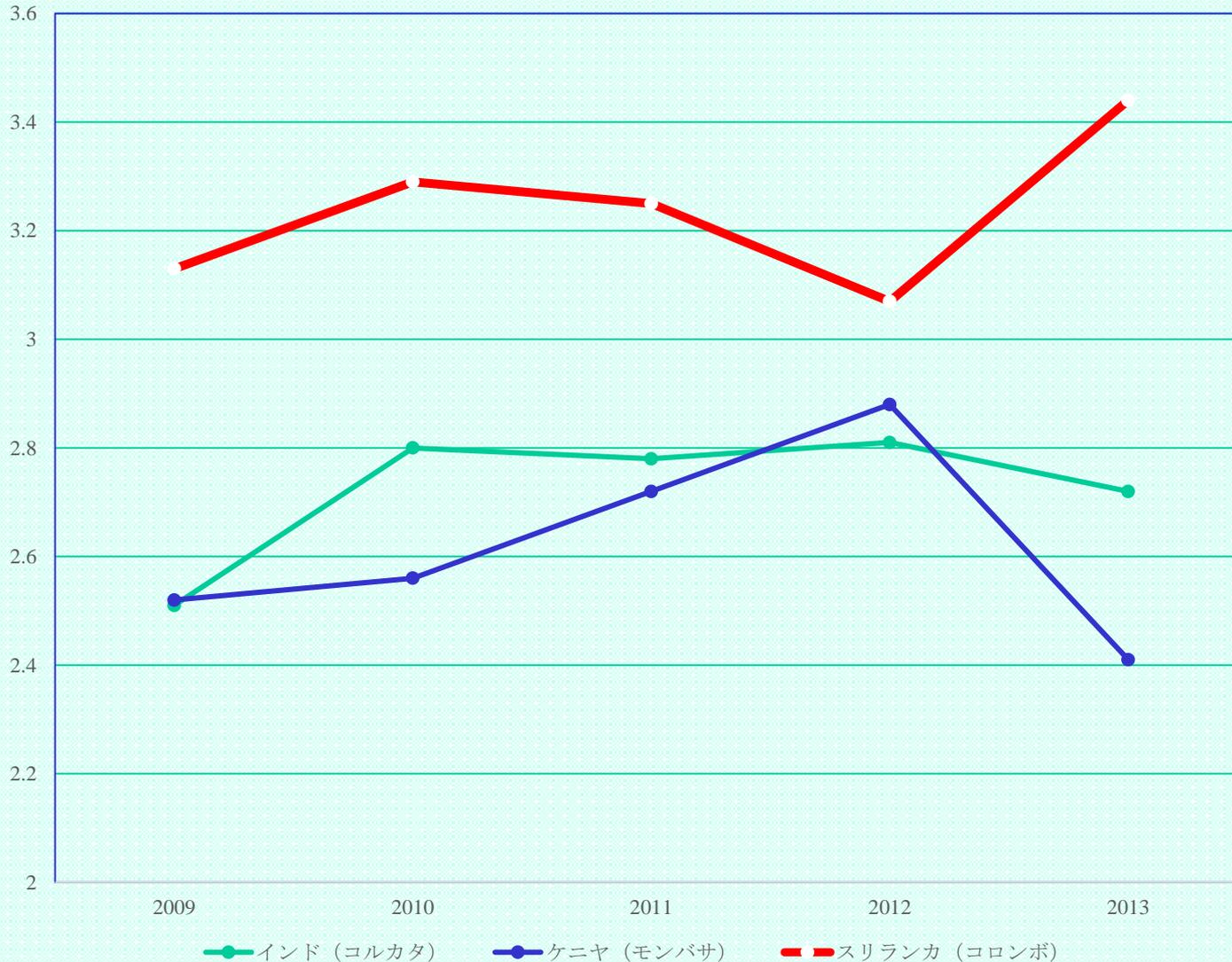
- コストをコントロールすれば紅茶の質を維持できるか？
- セイロンティーは高品質、高価格の商品として紅茶愛好家の方にプレミアムな紅茶としてお届けしていきます。
- 安定した高品質な紅茶を作っていくには紅茶の生産の現場の人々や社会が向上していくことが大事です。

世界の優位に立つセイロンティー

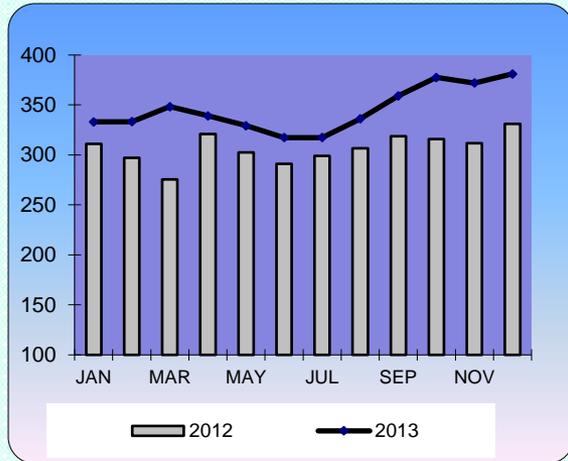
- 低価格のナショナルブランドや海外のプライベートブランドと競合しているが、セイロンティーは量ではなく、質でプレミアムな紅茶として存在感を出していかないと世界で勝てないと思っています。
- プレミアムなスリランカのブランドが今後世界で活躍すると思います。
(Dilmah, NELSONS, BASILUR, IMPRA etc)



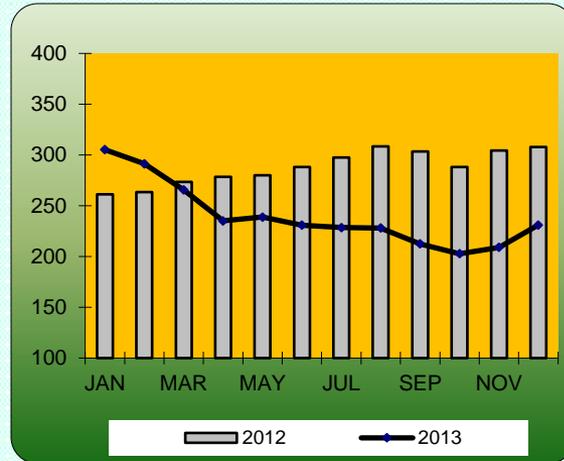
主な紅茶市場における価格の比較



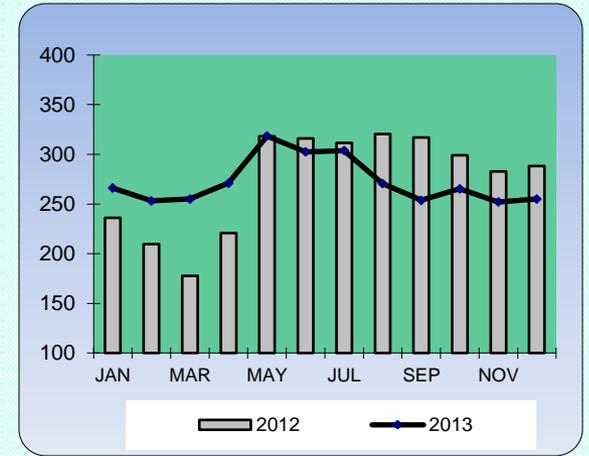
主な紅茶市場における月毎の価格



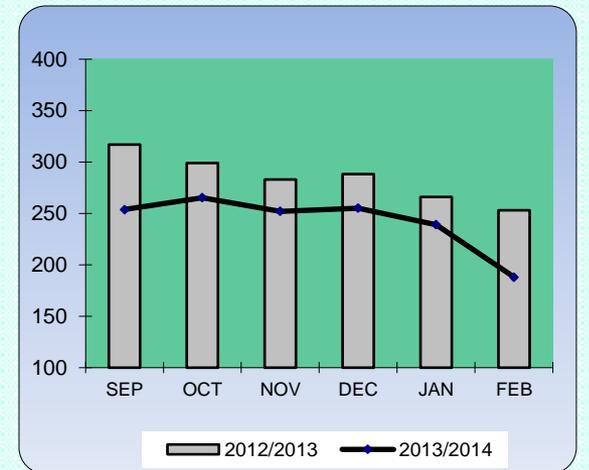
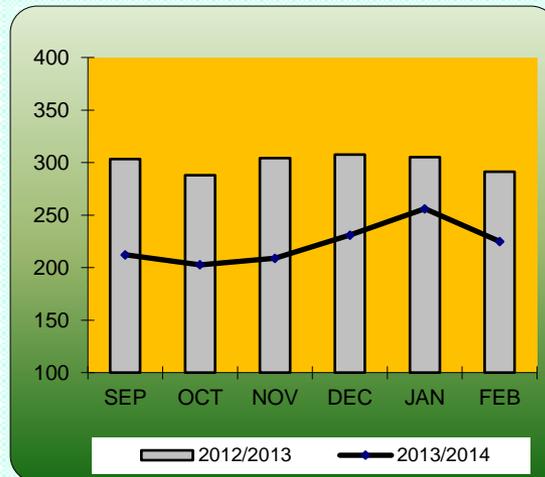
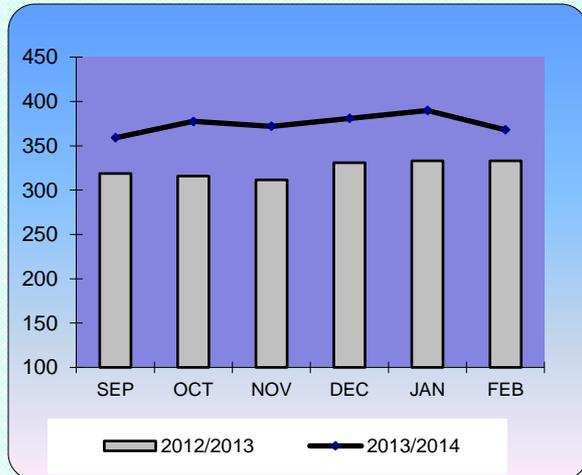
スリランカ (コロンボ)



ケニア (モンバサ)



インド (コルカタ)



お茶とコーヒーにおける国際市場

お茶は水に次ぐ世界で愛される飲み物です



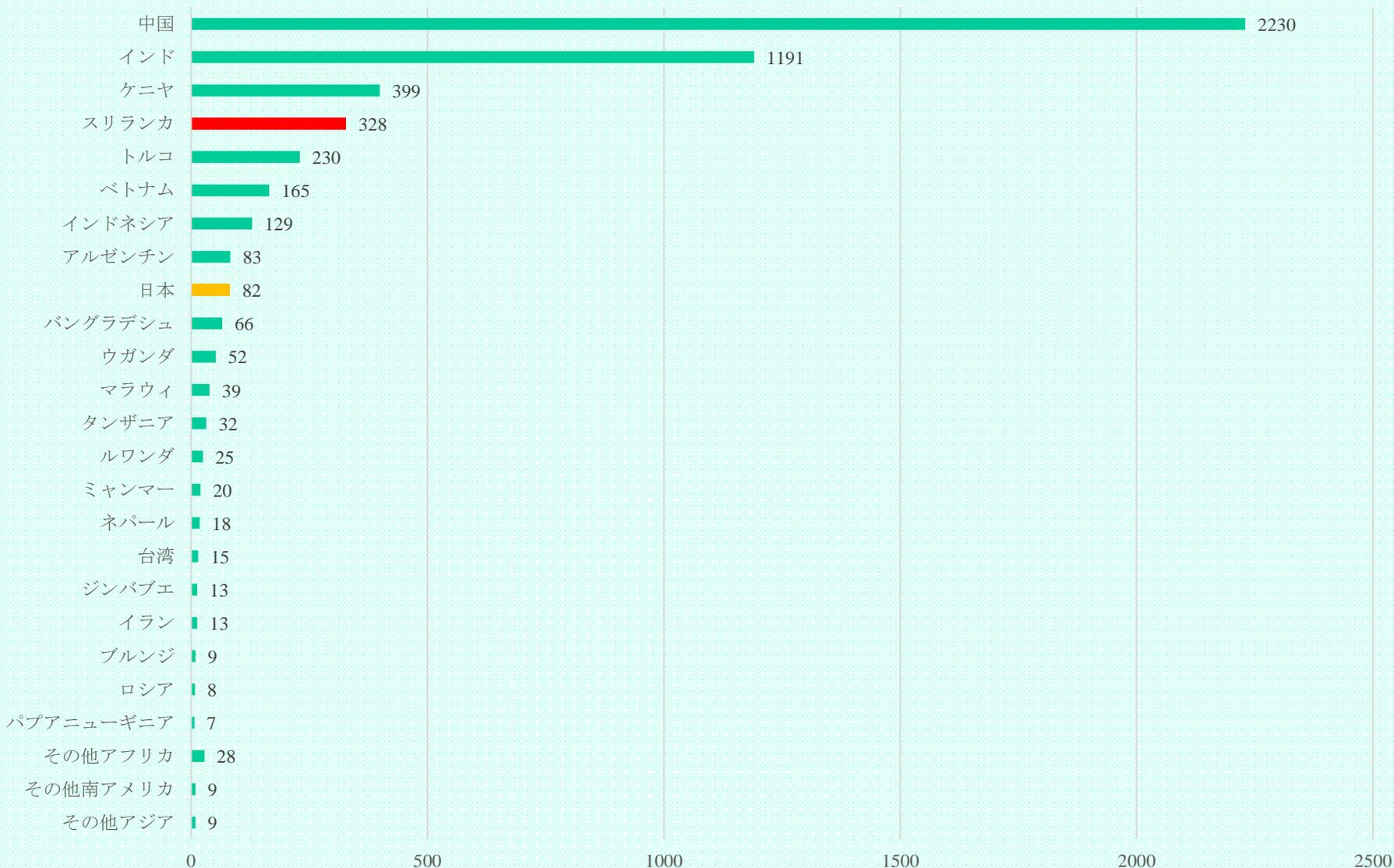
セイロンティーを選ぶ理由

- ユニークな紅茶として。
茶葉の個性がユニーク。産地による特性
- 地球温暖化を防ぐオゾンにやさしいセイロンティー
- 長年にわたった特別な紅茶としての品質
- 150年以上、オーソドックスな製法で作ってきた熱意とセイロンティーにかける愛情
- 高い生活水準を持つ人々が作る紅茶
- 倫理的で自然を守りながら作る紅茶

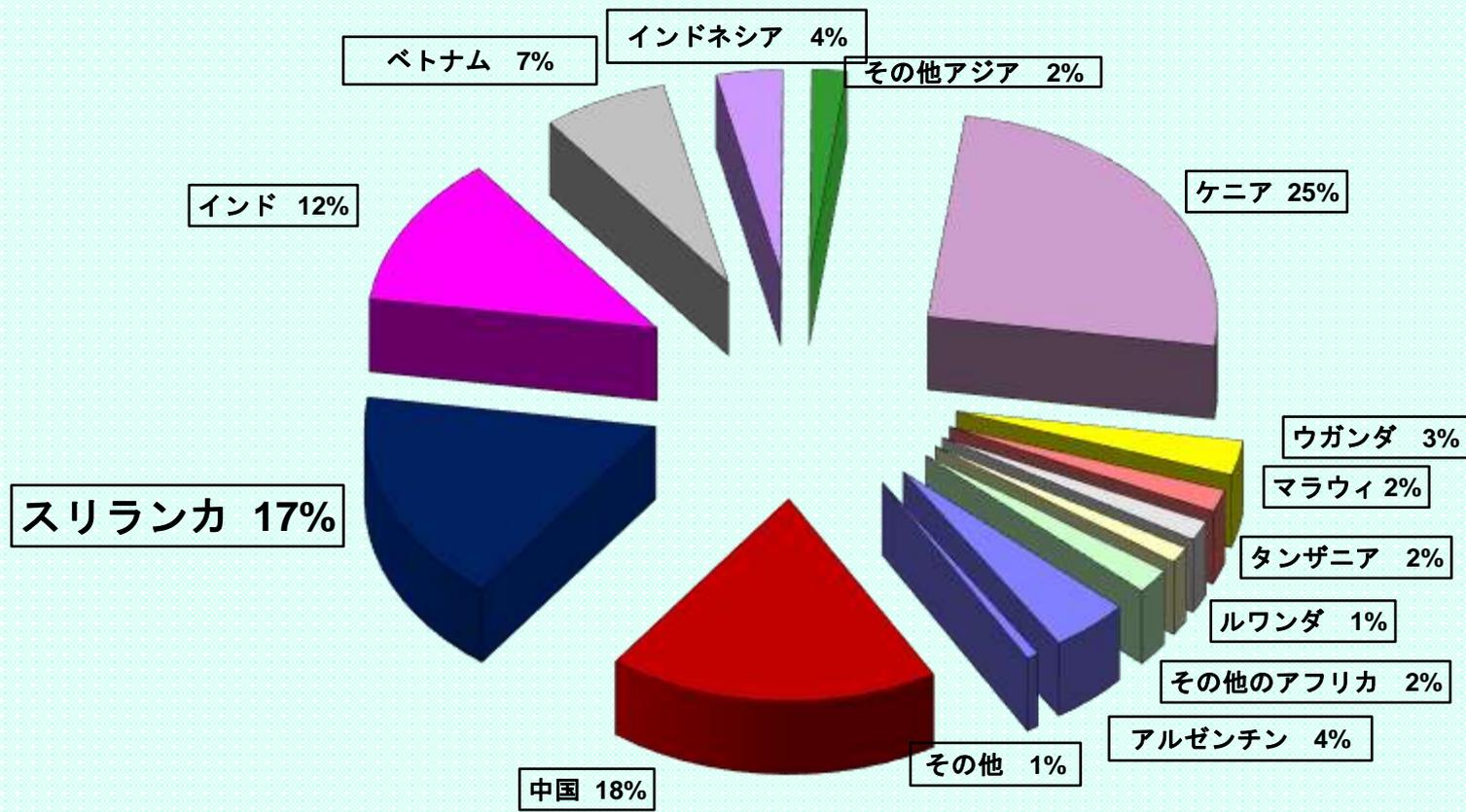
セイロンティーを選ぶ理由

- 長年の高品質な紅茶における信用。
- 世界で一年で15億ドル(約1,700億円)以上の売上をあげたのはスリランカだけです。
- 28種類のグレードを産出し、世界中のさまざまなニーズに対応できる。
- 付加価値の付いた商品の開発
- 産学協同での商品開発や国の厳しい品質管理

お茶の主な生産国(単位：1000^トン)



お茶の主な輸出国(全体 1757万トン)



国民一人あたりの紅茶消費量

イギリス	1.74	オーストラリア	0.48
アイルランド	1.60	エジプト	1.12
カタール	1.81	アメリカ	0.41
リビア	2.19	スリランカ	1.35
モロッコ	1.73	インド	0.75
日本	0.89	中国	1.22
ケニア	0.70	トルコ	3.14
インドネシア	0.32	ロシア	0.88

単位: kg



- ライオンロゴはスリランカティーボードのトレードマークです。
- ライオンロゴはスリランカで生産、製造、包装された、高品質のセイロンティーのみ付けることができます。
- 1999年9月には日本の特許庁に登録されました。



ありがとうございました

බොහෝම සතුවිඳි.

株式会社シーテージャパン

埼玉県川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越 5 0 4

Tel:049-293-9696 Fax:042-293-9698

Website: <http://www.ceythe.co.jp>